



決意に燃えて 令和4年度のスタート(入学式編)

4/7(木)入学式 新入生代表 決意の言葉

1年3組 江口 優



春たけなわのよい季節となりました。

今日はコロナ禍の中、このようにりっぱな入学式を実施していただき、ありがとうございました。

私は、鈴田小学校出身です。楽しいときにはみんなで笑い、卒業式ではみんなで泣いた、とても良いクラスでした。ですが、中学校になるとクラス替えがあります。鈴田小学校は、クラス替えがなかったので、鈴田の友達がばらばらになるのは、正直に言うと少しさびしいです。

小学校で私たちは、自分たちで考え動けるクラスを目指してがんばってきました。ですから、中学校でも新しい仲間たちと一緒に、お互いの学校の良さを合わせて、さらに良い学校づくりをしていきたいと思っています。

私は、中学校生活で部活動が楽しみです。陸上部に入り、長距離を走りたいと思っています。そして、県1位を目指して練習をがんばりたいです。

先生方、中学校の学習は難しいと聞いています。私たちもがんばりますので、ご指導よろしくお願ひします。先輩方、私たち1年生は分からないことだらけですので、いろいろ教えてくださいたいです。1年生のみなさん、早く仲良くなって、一緒に楽しい学校生活を送りましょう。これから、よろしくお願ひします。

4/7(木)入学式 生徒代表 歓迎の言葉

3年2組 山下 桃子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私たち2・3年生一同、みなさんのご入学を心待ちにしていました。

さて、中学校には、みなさんにとって新しいことがたくさんあります。

まず、学習面では定期テストがあるということです。学期毎に中間テストや期末テストがあり、2日間に分けて、まとめてそれぞれの教科のテストを受けます。また、テスト直前には、テストのための学習計画を立てたり、部活動が停止になるなど、テスト勉強に集中できるようになります。

学習面ではもう一つ。玖島中学校では、去年から総合的な学習の時間に「起業家体験学習」という学習を、今の3年生が行っています。実際に商品やサービスを提案し、会社を設立しました。みなさんは、その会社を引継ぎ、経営することになるでしょう。この学習は、どの学校でも行っている、という訳ではありません。他の学校ではできないことを体験して学ぶことができるのです。

次に、行事についてお話ししましょう。中学校の大きな行事といえば、「体育大会」と「合唱コンクール」です。この2つの行事では『団結する』ということ強く感じるようになると思います。体育大会では、行進やリレーの練習を自分たちが見つけた時間に行います。合唱コンクールでも、練習計画、練習方法を自ら立て、伴奏者や指揮者など、基本生徒が中心となり練習を進めていきます。それを行うには、リーダーだけが動いても成功しません。みんながそれぞれのことを考え、動くことで行事を成功させることができます。小学校とは違う、新しいことはまだまだあります。まず、部活動です。部活動では、それぞれの活動を楽しむだけではなく、部員が一丸となって、目標に向かって活動することで、技術面や精神面を高めていきます。また、自分とは違う学年の人との付き合いができ、将来必要になる他の世代の人との付き合い方を学ぶこともできます。

次に、中学校を私たちの手でより良く変えることができます。「生徒会」というものを知っている人は多いのではないのでしょうか。玖島中学校に入学したみなさんは、すでに生徒会の会員です。中心となり動くのは、会長などの役員ですが、みなさんにもできることがあります。例えば、みなさんは、玖島中学校の不便な点、改善すべき点を見つけ、「こうしたい」という要望を提案することができます。もし、その案が通れば、あなたの思いが具現化されることになります。自分の手で玖島中学校をより良くすることができるかもしれません。

みなさんは今、新しい生活への期待がある一方、一歩踏み出すことへの緊張も感じているのではないのでしょうか。私たちもそうでした。新しい環境へ飛び込むことへの緊張・不安を感じていました。しかし、大丈夫。親切な先生方、優しい先輩方のおかげで、マイナスな気持ちは和らぎ、楽しく過ごすことができます。私たちも、みなさんにとってそんな先輩になれるよう頑張るので、ぜひ困ったときなどは気軽に頼ってください。

また、「初心に返る。」という言葉があります。適度な緊張は、実は物事を成功させやすいのです。緊張し過ぎると、思うように動けません。しかし、逆に慣れ過ぎると羽目を外してしまいます。今日感じている気持ちを、必ずしも手放す必要はないのです。「中学生になって、こんなことを頑張りたい。」という決意を大切にしてください。

「進華」これが今年の生徒会のスローガンです。「進む」に「華」と書きます。私たちと一緒に、楽しい玖島中学校、より良い玖島中学校を創り上げましょう。



2号にわたり、生徒代表の言葉を掲載しました。どの生徒の言葉も輝きを放ち、頼もしくも、芯が通っています。全生徒一人一人も同様だと思ひます。「初心忘るべからず」能の世界を大成させた世阿弥の著書「花鏡」にある言葉です。「初心」とは、「最初のころの純粋な気持ち」や「習い事や芸事を始めたころの未熟さ」のことを言ひます。子供たちが抱いた「清新な決意や思い」、「意気込みと謙虚さ」などを、1年間ずっと大切にしていきたいと思ひます。それぞれのご家庭でも、「ものを言わせ、ものに成る」ご支援と見守り、伴走をお願ひします。